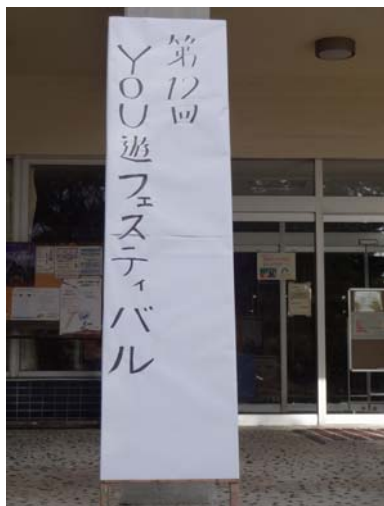


## 2014 国際教養科 NEWS 1月

### 「信大 YOU 遊フェスティバル」に西高生徒13名がスタッフとして参加（高大連携）



昨年の12/8（日）に「第12回信大 YOU 遊フェスティバル」がありました。これは、信州大学教育学部の学生が長野市内の小学生を教育学部キャンパスに招き、いろいろな講座を開いて子どもたちと一緒に楽しむイベントです。今回も、信大教育学部教授の土井進先生のご指導のもと、信大生が主体的に「YOU 遊フェスティバル実行委員会」を組織して準備・運営をしました。

そして昨年に引き続き、本校の生徒（今年度は13名）も実行委員会のスタッフとして、前日の準備と当日の運営のお手伝いをさせていただきました。当日は約300人の小学生が集まり、それぞれの子どもたちが、希望する13の講座に分かれて、大学生や高校生（西高生）と楽しく過ごしました。本校生徒が

スタッフとして参加するにあたっては、信大教育学部3年の北野雄大さんが何度も西高に来校していただき、生徒と打ち合わせを行い、計画的に準備を進めてきました。

参加した本校13名の生徒は、将来の進路で、信大を始め 教育系の大学を希望する者が多いだけに、どの生徒も、充実した有意義な経験ができたようで、子どもたちとの交流はもちろん、大学生（先輩）の姿から多くのことを学べたようです。大学生は、さすがに教育学部の生徒さんだけあって、ただ子どもと遊ぶだけでなく、自分の仕事の役割に責任感を持ち、子どもをうまくリードしていたり、子どもが帰った後に行った講座ごとの反省会で、真剣に子どもに対する発問や活動の一つひとつを振り返り、前向きな意見を出している姿に本校生徒はとても感動したようです。お互いすぐ近くの学校同士なので、信大との高大連携の事業をさらに進めたいと思います。（1/23（木）に信大との2回目の高大連携の英語授業も本校で予定）



開会式で信大教育学部の土井進先生のお話を聞いて、この YOU 遊フェスティバルは、大学生や大学の先生までも自らお金を出して企画・運営されていることにとても驚きました。それはたとえ自分たちがお金を出しても、将来、長野県の学校で教壇に立つ学生たちが、このイベントで遊びを通して多くの様々な子どもたちと楽しく触れ合い、感動することから得るものは大きいものだという考え（価値観）が根底にあるということでした。私もぜひ信大に入れるように勉強がんばります！（普通科2年生徒）



開会式で信大教育学部の土井進先生のお話を聞いて、この YOU 遊フェスティバルは、大学生や大学の先生までも自らお金を出して企画・運営されていることにとても驚きました。それはたとえ自分たちがお金を出しても、将来、長野県の学校で教壇に立つ学生たちが、このイベントで遊びを通して多くの様々な子どもたちと楽しく触れ合い、感動することから得るものは大きいものだという考え（価値観）が根底にあるということでした。私もぜひ信大に入れるように勉強がんばります！（普通科2年生徒）

（子どもとの接し方で）周りの先輩方（信大生）を見て、とても刺激を受けました。子どもが受付を済ませると、すぐに手を差し伸べて笑顔で子どもと接したり、子どもの目線に合わせてひざまづき、楽しそうにお話したりということが自然にできている先輩に憧れました。

（国際教養科2年生徒）



私は、「ファインディングイモ（焼き芋大会）」の講座を担当をしましたが、フェスティバルが終わった後、反省会にも出させていただきました。焼き芋もおいしく焼けたし、子どもたちの笑顔も沢山見れたので成功かと思いきや改善点は山のように出てきました。ゲームの難易度やグループの決め方、交流の仕方、準備についての点で、大学生の先輩方の反省はとてもの確で、次のイベントに向けてまた新しく頑張ろうという気持ちが伝わってきました。

子どもたちをより楽しませたい・喜ばせたい・やりたい事をやらせてあげたいという気持ちが強くあってこそ、このような素晴らしいフェスティバルにすることができるのだと感動しました。（国際教養科2年生徒）

今回のイベントには、自分の進路を決める1つの材料になればと思い、参加しました。「絶望要塞」の講座を担当しましたが、内容の質の高さに驚かされました。なぞなぞ、クイズ、暗号の解読などに取り組んで大学のキャンパスを歩き回って脱出を目指すものですが、子どもたちが真剣な顔でクイズに取り組む姿や問題が解けて喜んでいる姿が見れて、とてもうれしかったです。（普通科2年生徒）



私は「絶望要塞」という講座を担当しましたが、ただクイズを解くだけではなく、子どもたちに喜んでもらうために、食べることで解けるもの、体を動かして解けるもの、2班で力を合わせて解けるものなど、工夫された大学生らしい思考と配慮がなされたステージばかりでした。午前中に頭を使った活動をしたので、午後は思いっきり体を動かす活動をするという子どもたちへの気遣いやそのアイデアに感心しました。

（普通科2年生徒）

大学生とこんなに深く関わったのは初めてだったので、とても緊張したけど、皆さんがとてもよく接してくださって、とても充実した2日間が過ごせたと思います。私は職場体験などで保育園に行って、園児と一緒に遊んだことはありましたが、小学校の高学年の子どもたちと触れ合うのは初めてで、前日からだいぶドキドキしていました。でも、小学生はみんな元気が良くて、たくさん話しかけられたら緊張もほぐれ、私は「絶望要塞」の講座を担当したのですが、楽しくテロリスト役を演じることができました。私は今回の体験から、今から猛勉強して絶対に小学校の先生になりたいと思いました。（普通科2年生徒）



今回のフェスティバルでは、教育学部の学生の方が子どもたちにいろいろなことを教える姿が印象深かったです。私は「みんなで踊ろう！ソーラン節！」の講座を担当させていただき、大学生と一緒に



に子どもたちにソーラン節を教えました。実は、数年前に私が子どもとしての立場で YOU 遊フェスティバルに出て、その時に今回と同じソーラン節の講座に参加したのですが、その時教えてくれた大学生のお兄さん、お姉さんを思い出しながら、「明るく元気がある人に子どもはついてくる」という今回の大学生のアドバイスを頭に入れて、子どもたちと練習をしました。(普通科1年生徒)



最初は、子どもたちとの接し方がわからず、心が折れそうになった。でも、慣れてくるとだんだん楽しくなって、子どもたちと関わることの楽しさがわかった気がします。大学生の先輩たちは、すごくキラキラ輝いていて、とても優しくてカッコ良かったです。

何よりも子どもたちとの接し方は上手くて、先輩たちの周りには子どもたちが集まっていますすごいと感じたし、私もあんなふうになりたいと思いました。私は「グリグリパンケーキ」の講座を担当しましたが、卵を黄身と白身に分けたり、火を使ったりすることは子どもたちには難しいんじゃないかと思うところがありましたが、子どもたちは積極的に挑戦していてすごいと思いました。私が一番子どもたちに驚かされたのは、まだ小学生なのに、周囲に気を配って、自分がやりたい作業でも他の友だちに譲ってあげていた場面で、すごく関心してしまいました。今回、YOU 遊フェスティバルに参加させてもらって、子どもと関わることの楽しさも難しさも学ぶことができました。これから自分の進路を決めていく中で、活かしていきたいです。(普通科2年生徒)

最初は小学生の子に話しかけると、緊張しているせいかあまり会話がはずまず、「うん」としか話してくれなくて心が折れそうになりました。しかし、時間が経つにつれて自分の兄弟のことや習い事のことたくさん話してくれたのでとてもうれしかったです。子どもが話しやすい話題を出したり、根気強くお話をすることが大切だと思いました。また、ほめることはできても、注意することは難しいと思いました。しかし、先輩(信大生)は子どもが納得のいく注意の仕方を上手にしていたので、さすがだなと思いました。(普通科2年生徒)



大学生と一緒に活動して思ったことは、大学生は自主性があるということです。私がボーっと座っている時、誰から何を言われることなく濡れた床を黙って拭いていた大学生がいました。さすが大学生、自分から進んで行動できることは私も見習わなくてはと感じました。今回のイベントで、教師になりたいという夢はますます強くなりました。(普通科2年生徒)

大学生の先輩方は、何もわからない私たちに親切に声をかけてくださり、「リラックスして、こちらからどんどん子どもたちに話しかけた方がいいよ。」とアドバイスしてくれました。そしてそのアドバイスのお陰で、子どもの笑顔が見られた時は、本当にうれしかったです。私も将来、先輩方のようにになりたいという目標ができました。(普通科2年生徒)

私たち高校生は、子どもと触れ合う機会というものがほとんどありません。そんな教育系志望の私たちにとって、今回の YOU 遊フェスティバルは、将来、教員を目指すための糧とな

るような体験のできる非常に良い機会でした。私は「スノードーム」の講座に参加しました。そこでまず感じたことは、大学生の積極さでした。講座長さんの説明に対して、「ここはもっとこうした方がいい。」などと指摘して、意見を出し合ったり、全員で良いものにしていくという積極的な姿勢が、参加している大学生全員に見られてとても刺激を受けました。子どもと同じ目線で子どもの立場になって、子どものために行動するその姿に私は深く感動し、こんな先輩のようになりたいと強く思いました。このイベントに参加する前よりもさらに教師になりたいという思いが強くなりました。また、それと同時に、教師という仕事の重さにも気づくことができました。(普通科2年生徒)

YOU 遊フェスティバルに参加してきて、大学生は「かっこいいな」と思いました。子どもと遊んだり、話したりする時も、子どもたちがすぐに心が開けるような話し方ですごいなと思いました。(普通科2年生徒)

大学生が立てた計画はとても緻密で、タイムテーブルもすごく細かく決まっていました。大学生の皆さんはとても優しく、わかりやすく、ていねいに何もわからない私に仕事の内容を説明してくれました。特に、スタッフだけの話し合いの場面では、誰ひとり無関心な人がおらず、講座長を中心に一人ひとりが自分の意見を持って、子どものために真剣に話し合っている姿が目には焼きついています。こんなに素敵な先輩方がいる大学に受験して合格したいなと本当に思いました。(国際教養科2年生徒)



一緒に遊んだり、ご飯を食べたりするうちに私もその子も慣れてきて、私の足の上に座ってくれたり、手をつないでくれたりしてとても嬉しく、やっぱり子どもは本当にかわいいなと思いました。私自身もすごく楽しんで遊ぶことができ、最初あった不安はいつの間にか吹き飛びました。時間もあっという間に過ぎて、終了の時間になった時、「もう終わっちゃった…」と少しさみしい感じもしましたが、怪我もなく、無事に1日を過ごすことができたので、ほっとする感じもしました。

今回の活動を通して、YOU 遊フェスティバルの事以外でも、大学のことや入試のことについても先輩方にお話を聞くことができ、本当に楽しい1日になりました。打ち合わせからお世話になった信大の北野さんや優しく接して下さった信大の大学生の方々にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。参加できて、本当に良かったです。

(普通科1年生徒)